



清田中央地区町内会連合会
会 長
青木 一夫

創立20周年を迎えて

平成2年3月に清田中央地区町内会連合会が設立されてから今年で20周年を迎えます。これを契機に今日に至る清田中央地区の軌跡と連合町内会発展に力を尽くされた多くの先人・先輩たちのご苦勞に、心から感謝申し上げるとともに、その記念事業としての記念誌刊行に当たり、加盟町内会の惜しみないご協力、関係諸機関団体の多くの方々のご指導に衷心から謝意を表すものであります。

おもえば、昭和30年代後半頃から風が吹けば火山灰が舞い上がり、砂利道、丘陵や、湿地帯が大規模な宅地開発の波に飲み込まれ見事な住宅地と変貌して、清田地区町内会連合会から16町内会が相はかり、他連合会のご指導助言も得ながら豊平区で10番目の清田中央地区町内会連合会が発足となったのであります。

当町連は、この20年間で4,007世帯が6,230世帯と世帯数増となり、地域の子どもたちや高齢者まで「安全・安心して暮らせるまちづくり」を進めるにあたり、平成9年には、清田中央地区児童・生徒事故防止合同対策協議会を設立し、地域一体となって子ども110番の家、地域安全パトロール隊、交通安全対策など防災防犯・交通安全運動に取り組み、この運動は防犯・交通だけに限らず青少年育成・環境衛生・不審者情報連絡網などと運動を進めてまいり、地域の危険カ所マップ作成と様々な事業に取り組んでまいりました。

これからは、創立20周年を新たなる出発点として、地域との連携、高齢者への対応、福祉の充実など問題は山積されておりますが「安全・安心のまちづくり」に19町内会相互の連携と協力一致により地域の振興にかかわる共通課題の解決と今後の発展方策の確立・推進に努め、その責務と役割を十分に果たしてゆくべく、不断の努力を続けることの決意を新たにします。

関係各位の一層のご指導ご鞭撻を切にお願い申し上げます。



札幌市清田区長
石倉 昭男

創立20周年に寄せて

清田中央地区町内会連合会創立20周年おめでとうございます。

清田中央地区は、この20年、新しい団地が次々と誕生し、人口も大幅に増え、豊かな自然の中で活気あふれる地域へと発展しております。これもひとえに役員、関係者の皆様をはじめ会員各位のご尽力の賜物と深く敬意を表する次第でございます。

清田中央地区は、緑多い丘陵地や公園、河川など豊かな自然に恵まれた中で、さまざまなまちづくりや地域活動に大変熱心に取り組んでおられます。また、子どもたちの数も多く、小学校を増築するなど街全体が若々しく、活気にあふれた地域という印象を感じております。そして地域活動を支える地域の連携も大変強いものがあり、常に先進的な活動に取り組んでおられます。例えばそれは地域安全パトロール活動の例を見るまでもなく、福祉、青少年育成、体育、文化、環境などさまざまな分野で連携が進み、地域住民にとって欠かすことの出来ない多くの事業を進めておられます。ここまで培った経験をさらに活かし、この地域がますます住みよい地域に発展していくことを願っております。

清田区では、毎年「清田区ふれあいプラン」を策定し、さらに住みよい街を目指してさまざまな事業に取り組んでおります。今年度の清田区の使命として、「みどり豊かで、地域のふれあいあふれ、誰もがやすらぎを感じるまちづくり」を掲げています。この使命を基に多くの事業に取り組んでまいりますが、いずれの事業におきましても、最も大事なことは市民参加という点です。清田中央地区の皆様にはこれまでもさまざまな機会において、関連事業にご参加いただいておりますが、この場をお借りしてあらためて感謝申し上げます。今後の事業を進めるにあたって、私どももこうした良好な関係を大切に、まちづくりを一緒に取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

終わりに、清田中央地区町内会連合会がますます発展し、地域の連携が一層進み、この地域がさらに住みよい街になっていくことを祈念申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。



札幌市議会議員
清田中央地区町内会連合会顧問
恩村 一郎

創立20周年に寄せて

清田中央地区町内会連合会が創立20周年を迎えられたことを、町内に住む住民のひとりとして、心からうれしく思います。また町連の顧問としての立場から、様々な場面で町内会・町連の活動にご協力をいただいた会員の皆さんに、この場を借りて改めて感謝と敬意を表したいと思います。

思い返せば豊平区から分区をし清田区が誕生したのが平成9年11月、翌年4月の統一地方選挙で市議会議員としての役目を与えられ、その後自身の住む町連の顧問としての役割も仰せ付けられました。この間、交通量の増加が著しかった羊ヶ丘通に、渋滞や追突防止の安全対策として、清田中央地区へ入る3ヶ所の交差点に右折レーンの整備を図ると共に、地域の皆さんと共にパークゴルフ場の整備、全国ニュースでも話題となったゴミロードの撤去、更には現在も継続中の納骨堂建設問題や清田通の全面開通へ向けての取り組みは、地下鉄東豊線の清田区への延伸要請活動と併せ、分区後のこの地域の発展の歴史の上で、記録に止めておくべきことと言えましょう。

清田区内においても昨今人口増加の著しいのが清田中央地区であり、一層の社会基盤整備が求められているのもこの地域です。町内会の活発な活動と、住民相互の融和を持って、よりこの地域が、安心・安全で住み易い地域であり続けるよう、心から願う次第です。

町連の20年の歴史は、一言では言い表わすことのできない、数多くの先達たちの努力の結晶であろうと思います。そしてこの地域に住む私たちは、先達たちが築き上げてきたこれまでの努力の結晶をしっかり受け止め、更に将来へ向けて発展させていくことが何よりも重要です。

清田中央地区町内会連合会が創立20周年を機に、益々住民にとって役立つ存在として機能し、市内でも誇れる町連に発展していくことを祈念し、お祝いの言葉と致します。



第五代所長
塩澤 正樹

創立20周年に寄せて

清田中央地区町内会連合会の創立20周年、まことにおめでとうございます。

私は平成12年から2年間、連絡所長としてお世話になりました。ちょうど町連創立10周年を迎えるときでしたので、記念式典などをお手伝いさせていただいたことが印象深い思い出となっています。あれから早いもので10年が経過いたしました。当時の杉本会長、副会長の加賀谷、金子、土肥、青木(現会長)の各氏をはじめ役員の皆様には、人生の大先輩として様々な薫陶を受けました。また、連絡所の入っている会館の運営委員長をされていた雨宮会長には、経験の浅い不慣れな私を色々な場面で助けていただきました。現副会長の森さんをはじめ女性部の方々には、すべての行事で大変お世話になりました。町連の皆様にあらためて厚く感謝申し上げます。

清田中央地区町内会連合会が、永年にわたって築いてこられた信頼と助け合いの輪を、このたびの20周年を契機にさらに大きく広げられ、ますます発展されますように、心からお祈りしております。

創立20周年に寄せて

創立20周年おめでとうございます。連絡所長として平成14年からの2年間の在職でした。連絡所と町内会連合会が一体となり、福祉・環境・防犯・交通安全など地域の活動に取り組んでまいりました、というよりは町連を中心とする地域の方々のお手伝いをさせていただいたのが実情でした。

この時期の町連は、あしりべつ郷土館まつりや小学校と連携したイベント開催、地域の危険箇所マップづくり、ホームページの開設のほか、子育てサロンやすこやかクラブへの支援など様々な新しい取り組みをしていました。清田中央地区は、このような活動を自分達で企画し実践していく良さがありました。そこにはいつも先頭に立つ加賀谷会長と会長を支える町連役員の皆さんがいました。それは他の地区の所長さん達にも誇れるものでした。大変お世話になり楽しく仕事をさせていただいた町連での思い出は忘れることができません。20年の節目を迎えた清田中央町内会連合会が、この良き伝統を引き継がれ、ますます発展することをご祈念申し上げます。



第六代所長
高橋 和夫



第七代所長
小島 千尋

創立20周年に寄せて

清田中央町連創立20周年おめでとうございます。

私がまちづくりセンターに在籍していた頃は、まだボンヤリとしたイメージしか持っていなかったのですが、いよいよ20周年の節目を迎えられたのですね。

それまでは町連の10周年のあゆみや、創立以来から保管している町連だよりを参考に歴史をたどって来ました。

二年間の思い出としては、市長とおしゃべりしませんかの集いが、初めてまちづくりセンターで行われたこと、その行事の準備に大変な時間を費したこと、町連の方々の熱心な打合せやリハーサル等に感服したものでした。上田市長も最後に町連の方々の純粋さ、真面目さを賞讃していましたが、その音頭をとられた加賀谷前会長が急逝されたことは誠に残念で、改めてご冥福をお祈りいたします。

今後も、まちづくりについて地域の皆様の熱意と協力により一致団結して、町連のさらなる発展と飛躍を願っています。

創立20周年に寄せて

清田中央地区町内会連合会が創立20周年を迎えられ、心よりお慶びを申し上げます。また、役員の皆様や地区の皆様には私の在任中多大なご協力をいただきました。この機会に改めてお礼を申し上げます。

平成16年4月に当時の連絡所に着任した際に、会長とお話をさせていただいて、非常に活力のあるそして先進的な取組みをしている連合会だなというのが私の最初の印象でした。そしてそのとおりの連合会でした。

在任中には幾つかの新たな活動が立ち上がりましたが、従来の活動を継続するだけでも大変なのに、新たな取組みに挑戦された当時の役員の皆様や関係者の皆様には大変なご苦勞があったのではと今になって思っています。

連合会の活動をとおして清田中央地区がより安全で住みよいまちになりますように、そして、連合会の益々の発展と役員の皆様のご健勝を祈念し、私からの創立20周年のお祝いの言葉に替えさせていただきます。



第八代所長
西村 聡



第九代所長
石塚 雅康

感謝と学びの日々でした

創立20周年心からお慶び申し上げます。私はこの3月まで、2年間にわたり皆様と一緒に仕事をさせていただきました。この2年間、地域の皆様方から本当に多くのことを学ばさせていただきました、また楽しいイベントにも参加させていただきました、あらためて感謝申し上げます。

清田中央地区はさまざまな分野において大変熱心に活動されていますが、いずれもその基本に流れているのは、地域への愛着ではないかと思えます。常に愛郷心を念頭に活動されているからこそ、人々に喜ばれるイベントや安全パトロール活動へとつながっているのだらうと感じております。

地域住民同士が助け合ってより良い地域を創っていく、という古くからの日本的風土のいい部分を、この清田中央地区は現在も立派に持っています。是非、こうした風土を大切に、さらに住みよい地域づくりを進めていただくことを願っております。

私自身もたくさんの行事などに参加させていただきましたが、本当に楽しく充実した日々でした。そして、多くのことを学ぶことができました。この日々の思い出をこれからも大切に、自分自身の生き方の参考にさせていただきたいと考えております。これからもますますこの地域が発展し、いつも笑顔あふれる清田中央地区であることを心から願っております。

よろしく願いいたします

清田中央地区町内会連合会創立20周年、おめでとうございます。

この4月より皆様の地域に仲間入りさせていただきました。

着任早々、交通安全パレード(4月5日)に参加し、その行進の列の長さにまず驚き、そして、沿道や窓からも多くの方が見守る様子にまた圧倒されました。それが、清田中央地区で、皆さんの地域に対する愛着の深さを体感した初日でした。これから、このような驚きに何度も出会えるのだらうとワクワクしています。

こうしたご近所の温かみを感じられる暮らしは、簡単に手に入るものではありませんし、また自ずと続くものでもないと思えます。歴代の町連役員の方々をはじめ、今、お住まいになっている皆さん一人ひとりが、なお築き続けているからこそそのものなのでしょう。

そして、清田中央地区が持つひととき貴重なこの個性が、これからも皆様によって受け継がれ、ますます大きくなっていきますよう、心からご祈念いたしますとともに、微力ながら少しでもお手伝いさせていただければと思っています。



第十代所長
徳光 雅浩



ごみゼロの日
「クリーン大作戦」
(5月)



交通安全運動街頭啓発(7・10月)

中央地区町内会連合会定期総会



町連定期総会(5月)

清田中央地区 地区懇談会



地区懇談会(6月)



歩く運動(9月)

月別に見る1年間の主な活動

| 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|--|--|---|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 清田中央地区町内会連合会定期総会 ごみゼロの日「クリーン大作戦」 役員会 | <ul style="list-style-type: none"> 地区懇談会 町連だより発刊 パークゴルフ大会 | <ul style="list-style-type: none"> 成人野球大会 清田南連絡協議会夏祭り 清田通り早期開通促進期成会総会 夏の交通安全運動街頭啓発 役員会 | <ul style="list-style-type: none"> 清田地区壮年野球大会 清田東連絡協議会盆踊り大会 | <ul style="list-style-type: none"> 敬老の日行事 歩く運動 | <ul style="list-style-type: none"> 町連だより発刊 秋の交通安全運動街頭啓発 文化展示会 |



成人野球大会(7月)



東連絡協議会盆踊り大会(8月)



壮年野球大会(8月)



南連絡協議会夏祭り(7月)



パークゴルフ大会(6月)



文化展示会(10月)



役員会(11月)



敬老の日行事(9月)



一泊研修会(11月)

11月

12月

1月

2月

3月

4月

・一泊研修会
・役員会

・子ども会
「合同餅つき大会」

・清田中央地区町内会
連合会新年交礼会

・町連だより発刊
・玉入れ大会

・役員会

・交通安全パレード



玉入れ大会(2月)



町連だより発刊(6・10・2月)



子ども会「合同餅つき大会」(12月)

会連合会新年交礼会



新年交礼会(1月)



交通安全パレード(4月)





清田団地元町内会
つくしんぼ子ども会
小学校6年 大賀 夢乃



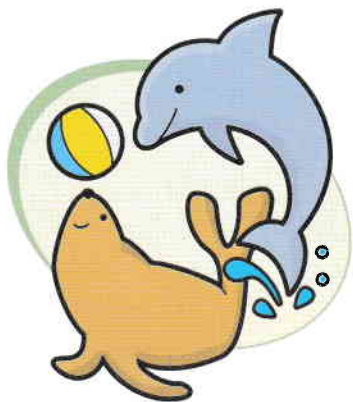
子ども会の思い出

私が、子ども会で一番の思い出は、つくしんぼ交流会の行事です。この時は、4年生・5年生・6年生のみんなで、ホットケーキを作りました。ホットケーキを作った時は、ほとんどの人が積極的でたくさんできました。その中で楽しかった事は、食べている時に、友達と学校の話をして盛り上がった事や食べ終わった時にダンスで盛り上がった事です。この時は、ボランティアさん(お世話してくれるお母さん)が、準備や片付けをしてくれました。けれどこれは、今回だけではなく毎回やってくれています。あたり前、と思いますがこれはけっこう大変です。

それと、ボランティアさんと同じく私たちのためにお世話してくれている人がいます。それは、パトロールの方々です。パトロールの方々は、学校がある日、毎朝早くから私たちを見守ってくれています。パトロールの方々・ボランティアさん、私たちはこの方々にとってもお世話になっています。あたり前だと思っていますが、みなさんに感謝しなければいけません。パトロールの方々・ボランティアさん、とてもお世話になりました。本当にありがとうございます。



清田南中央町内会
竹の子子ども会
中学1年 西村 透



子ども会の思い出

僕が子ども会の行事で一番楽しかったのは、「小樽水族館バックヤードツアー」です。

この行事を計画した時、育成者の方に話をしたところ、取り上げてくれて行けるようになりました。

実際、行ってみると、サメをさわったり、サメのぬけた歯をさわったり、サメの卵のカラーを見たり、タコ・ナマコ・ウニ等をさわる体験ができ、その時の水族館の方の話で知識を身につけることができました。

僕が経験・体験したことを、この後も、育成者の方の協力を得て、続けていってもらいたいです。

そして、自分達が一番忘れてはいけない事は、この清田中央地区には、「防犯パトロール隊」というのがあって、地域のおじさん・おばさん達が毎日登下校を見守ってくれています。本当にありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

清田中央地区を育む19の町内会

会長寄稿

清田第二町内会

清田第三町内会

清田第四町内会

清田第五町内会

清田ファミリータウン町内会

清田自治会

清田南若葉会

清田南中央町内会

清田緑町内会

清田南町町内会

清田中央町内会

清田団地北町町内会

清田東町町内会

清田高台町内会

清田団地元町町内会

清田西町町内会

清田メイユール喜寿自治会

しんえい西自治会

ヒルズガーデン清田町内会

清田中央地区を育む町内会長



清田第二町内会
山下 紀雄



清田第三町内会
横山 武士



清田第四町内会
山地 宏重



清田第五町内会
刑部 紀元



清田ファミリータウン町内会
青木 一夫



清田自治会
坂本 一郎



清田南若葉会
森下 藤雄



清田南中央町内会
奥山 育男



清田緑町内会
加藤 清



清田南町町内会
天野 忠任



清田中央町内会
兩宮 稔



清田団地北町町内会
鈴木 亨



清田東町町内会
白井 敏勝



清田高台町内会
杉田 伸正



清田団地元町町内会
柏崎 武敏



清田西町町内会
金田 光司



清田メイユール喜寿自治会
大藤 留美子



しんえい西自治会
坪坂 昇



ヒルスガーデン清田町内会
井土 英幸

清田第二町内会

会長 山下 紀雄

世帯数：325戸(平成22年1月現在)

設立年月日：昭和58年4月

設立時世帯数：241戸

歴代会長：五十嵐 涉
桐生 重春
滝永 一夫



行楽旅行について

当町内会は、設立当時より園遊会・日帰り温泉旅行など町内会会員の親睦交流の場を提供してまいりましたが、マンネリ化もあり参加人数の減少傾向のため趣向を一変し、施設・観光・食事などの行楽旅行に変更し、第1回は旭山動物園見学へバス3台に親・子・孫三代の108名の参加で実施いたしました。

その後、町内会会員の親睦を深めることを中心に、小樽・仁木・富良野・上芦別・登別・余市などの地域へ果物狩り・施設見学・お花畑見学など旬や満開時期で一番良い日程を選択して、実施してまいりました。

毎回80数名の参加を得て、町内会会員のコミュニケーションを図ることができたことと思います。町内会会員からは、今年も良かったけど来年は、別な企画で実施して欲しいという様々な要望が帰りのバスの中で話され、町内会会員の希望を適えるために役員一同企画に苦勞する場面も多々あります。

この行楽旅行以外に、女性部主催の女性会員のみの日帰り旅行や体育部主催の新春ファミリーボウリング大会を実施しております。

清田第三町内会

会長 横山 武士

世帯数：498戸(平成22年1月現在)

設立年月日：昭和58年4月

設立時世帯数：413戸

歴代会長：岡田 文教
遊佐 国男
水谷 愼一
飯間 昇
松原 隆一

安全で明るく住みよい街づくり

清田中央地区町連創立20周年を、心よりお祝い申し上げます。

緑豊かな自然環境の中、年々順調に発展している町連の一員として、諸事業に参画できましたことを喜びたいと存じます。

当町内会も「安全で安心して生活できる、明るく住みよい街づくりに努め、町内の更なる発展をめざそう」を基本方針とし諸活動をしてまいりました。

具体的には○犯罪・交通事故・火災のない安全な街づくり(町内会自主防災会の組織づくりと活動)○清潔で明るく健康的な活気ある街づくり(ごみステーションの衛生的管理と体育的諸行事の充実)○会員相互の親睦・融和をはかり、互いに助け合う福祉の街づくり(レクリエーション行事の改善と福祉推進委員会活動の充実)班会議を積極的に実施し会員同士のコミュニケーションをはかる。…を役員・班長が中心となり事業の役割分担に基づき実り多い活動に努めております。

これからも町内会活動の原点を見失うことなく、更に進むであろう少子・高齢化を認識した上でコミュニティ活動に積極的に取り組んでいきたいと思っております。

清田第四町内会

会長 山地 宏重

世帯数:269戸(平成22年1月現在)

設立年月日:昭和58年4月

設立時世帯数:118戸

歴代会長:土肥 栄四郎

菊池 力

岡田 一馬

北垣 尊男

玉野 源四郎

黒澤 勝昭

相互に支え合うまちづくり

当町内会は今年設立27年目を迎えました。

世帯数はこの10数年来270戸弱と出入りも少なく、永年に渡って住まわれている方が多く、当時は気鋭の青・壮年も今では現役を退かれ、世の情勢にもれず少子・高齢化の波が押し寄せております。

往時より様々な行事を実施してきましたが、全盛時には町内会をあげてソフトボール大会、運動会、バーベキューで楽しむ等多くの参加者を得て大盛り上がりでした。

近年は平均年齢もゆうに60歳を超え新たな行事に変えざるをえなくなりました。それだけにより強く福祉の充実と安全・安心が求められており、スローガンの「地域の誰もが安心して暮らせる生活環境づくりや会員が相互に支え合うまちづくり」を踏襲し実践していかなければならないと意を新たにしております。

この地域は歴代会長をはじめ役員のご尽力で住み良い生活環境になっておりますが、ただ一つ清田通りの開通は町内会発足以来永年の目標で是が非とも達したい全会員の願いでもあります。

今後も町内会連合会のお力添えをいただき一日でも早く念願をかなえ、より素晴らしい環境のまちになるよう願っております。

清田第五町内会

会長 刑部 紀元

世帯数:579戸(平成22年1月現在)

設立年月日:平成元年10月

設立時世帯数:45戸

歴代会長:土肥 正豊

土肥 勇

西部 慎三

素晴らしい環境に恵まれた地域

清田中央地区町内会連合会が創立20周年を迎える年、清田第五町内も創立20周年を迎えます。

町内のアルベ地区の造成により急激な世帯数の増加で、現在580戸に達する推定人口2500人以上の大所帯です。町内会発足当時から平均年齢の若い町内会でしたがアルベ地区は更に若い世帯が多く、周辺町内会が高齢化の中で若さ溢れる町内であると自負しています。

町内の中央に清田通りが四車線の道路で通る、市内でも珍しい状況にあります。西側に農業試験場、南側に市街化調整区域と緑に囲まれた素晴らしい環境に恵まれた地域が特長です。これを町内の子供達、若い世代に残すため町内の老人クラブ「清田GOGOクラブ」とともに守って参ります。

ところが平成19年隣接の調整区域に突如新興宗教団体が寺院と納骨堂の建立計画が表面化、五回に及ぶ住民説明会も町内が求める団体の活動実体、建立計画のあいまいさに対し、何ら納得できる解答が得られず今日に至っています。この間町内会として反対を表明、連合町内会の建立反対の署名と合せ7800名分にも及び、平成21年2月札幌市長宛に提出する事ができました。紙面を借りてご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。第五町内会を擁護して下さる連合町内会の力が頼もしく心強く思われます。

今後更に30年、40年と限りなく発展されますようにご祈念申し上げます。

清田ファミリータウン町内会

会長 青木 一夫

世帯数:376戸(平成22年1月現在)

設立年月日:昭和63年3月

設立時世帯数:69戸

歴代会長:岩瀬 義一



町内会連合会創立20周年に寄せて

町内会連合会創立20周年おめでとうございます。

町内会連合会の一員である清田ファミリータウン町内会は、この緑豊かな地に昭和63年3月発足し、23年目を迎えました。現在は、378戸が相互の理解と協力のもと、環境美化に努め、緑豊かで心安らぐ住み良い街づくりに取り組んでいます。

町内会活動は活発で、夏はパークゴルフ大会、ゴルフ大会、夏休みラジオ体操、親睦バス旅行、ジンギスカンパーティが行なわれます。町内会独自で行なう盆踊り大会は、子供太鼓の打ち手が毎年十数人参加するので樽の上は大騒ぎ、夜店、ゲームも好評で会員の楽しみの一つとなっています。

冬は、新年の餅つき大会、マーじゃん大会は二度行なわれます。また、排雪は町内会創立当初から休日を利用して行っており、会員総出で雪かきに汗を流します。

当町内会も高齢化が進んでいることから、今後も会員相互の連携強化に努めるとともに、町内会連合会との連携を強め清田中央地区の発展に一層の協力をしていきたいと考えております。

清田自治会

会長 坂本 一郎

世帯数:118戸(平成22年1月現在)

設立年月日:昭和58年4月

設立時世帯数:80戸

歴代会長:大川 忍
加瀬 仁三
山田 修
田村 順平
山中 勝之

会員の親睦と和が基本

自治会は、設立時より会員の親睦と和(輪)を基本とした活動をしております。近年日本における高齢化の現状は、平均寿命・高齢者数・高齢化のスピードという3点において、世界一の少子高齢化社会です。自治会においても例外ではありません。

標語である「挨拶がつくる自治会の輪」を合言葉に、住みよく、穏やかで、潤いのある地域社会の実現に向け、「近所付き合い・助け合い」を大切にし、お互いの立場、考え方を理解しあえる、環境を会員一丸となって、作っていきます。



清田南若葉会

会長 森下 藤雄

世帯数:50戸(平成22年1月現在)

設立年月日:昭和59年4月

設立時世帯数:50戸

歴代会長:岩野 武

佐々木 繁雄

松本 順一

森田 秀弘

斉藤 正敏

笑顔で挨拶できる人間関係

昭和58年に市営住宅が建てられ、入居と共に清田南若葉会が結成され、はや27年の月日がたとうとしております。

50世帯の小さな集団ですが、入居当時中学生以下の子供が45人位いたのですが、今年度は2人だけになり、その代わり増えたのが老人世帯で、70歳以上の方が15人になりました。

町内会としては、福祉のまち推進センター等と協力して、福祉厚生に力を入れ、皆様に喜んでいただいています。

人それぞれ考え方や生き方も違いますが、人間関係を大事にし、隣近所仲良くしていくことを前提に行事が組まれております。高齢世帯と働いている方が多く、出席率は少ないのですが、顔を合わせれば挨拶できる人間関係はできております。

朝早くから畑に入り、年々畑面積が広くなり、見事に沢山の花を咲かせて周りの人を喜ばせてくれる人が何人もいて、ベランダに立ち我が庭のように楽しませてもらっています。ありがとうございます。

他人のいたみを自分のものとし、皆でこれからもしっかりと考え、どんな人も安心してこの地域で皆様と力を合わせていけることを期待して、これからも尽力していきたいと思っております。(K記)

清田南中央町内会

会長 奥山 育男

世帯数:390戸(平成22年1月現在)

設立年月日:昭和58年4月

設立時世帯数:319戸

歴代会長:杉本 勝昭

鹿森 品

会員相互の融和と親睦

初代会長杉本勝昭氏は平成12年4月まで、鹿森品氏は平成21年3月まで会長職にあり、両氏の献身的な活動と指導力により、全会員が一丸となって現在の町内会を作り上げたといえます。

設立当初から、町内会の活動基本方針は、会員相互の融和と親睦を深めるとともに福祉の増進に重点を置いた活動を心がけているところであります。

その一つの活動として、全会員参加の「夏まつり」は老若男女が参加して親睦を深めあい、昨年は20回目を迎えました。また近隣の町内会からもご来賓の方をお招きし町内会同士の交流を深めているところです。

また、介護予防センターの協力を得て、すこやか倶楽部の実施にも力を入れています。平成20年10月には会員待望の町内会館が計画から8年がかりで完成し、活動拠点として有効に活用され21年度は225回の利用でした。

平成21年度は会則の大幅な改正を行ない、今後の町内会活動の円滑化を期待しています。



清田緑町内会

会長 加藤 清

世帯数:395戸(平成22年1月現在)

設立年月日:昭和58年4月

設立時世帯数:353戸

歴代会長:東 國豊
守屋 保夫
斉藤 静子
菅野 常明



交流を深めるさまざまな活動

当町内会は400世帯の大きな町内会となりました。

年間行事として、観桜会・夏まつり盆踊り大会・歓楓会・敬老会と色々な行事に取り組み、会員との交流を深めています。

最大行事は皆さんが楽しみにしている盆踊り大会です。午前中はこどもみこしが町内を練り歩き、夜は盆踊りと南寿会やこども会等の協力を得て大変に盛り上がりしております。

敬老会では75歳以上の方を対象に、記念品を配り昼食をとりながらゲームやフラダンス等を楽しんでおります。また清田緑福祉推進委員会では、高齢者や一人住まいの方を対象に、一人でも多くの方に足を運んでいただけることを願って、いきいき交流会や映画会等を実施し、見守り活動を続けています。

なお、年に5・6回緑のたよりを発行、全家庭に配布して、緑町内会の輪を広げています。20周年記念誌には町内会副会長、部長さんの力を借り作成しました。

清田南町町内会

会長 天野 忠任

世帯数:245戸(平成22年1月現在)

設立年月日:昭和57年4月

設立時世帯数:198戸

歴代会長:山越 幸民
吉村 信治
山越 幸民



清田南町町内会のあゆみ

昭和46年「南3区」として清田団地町内会に入会、十年後の昭和57年には独立して「清田南町町内会」(世帯数198)が発足しました。

以来、中央バス路線延長、市道認定、上下水道施設の整備、町内会館増改築など、多難な問題を乗り越え、“明るく住みよいまちづくり”をめざして活動してまいりました。

その後、平成15年には念願であった新町内会館も完成、大きな節目として平成18年11月には、『創立35周年記念祝賀会』を多数のご来賓をお招きして盛大に開催することができました。

しかし、平成16年度より一つの町内会として活動してきた「ヒルズガーデン清田」の世帯数が急激に増加し、会員数が700名を超えるに至りました。そして平成20年には新町内会「ヒルズガーデン清田」として分離独立しました。

現在は以前の「南町町内会」(世帯数250)にたちかえり、一層の高齢化が進む中で、“親睦とふれあい”を最大の課題として、会員相互の絆を深めていく活動に取り組んでいきたいと考えております。

清田中央町内会

会長 雨宮 稔

世帯数:210戸(平成22年1月現在)

設立年月日:昭和59年4月

設立時世帯数:182戸



20周年に寄せて

10周年誌の時に寄稿しましたので、重複するかもしれませんが、やはり過去歴代の役員の皆様のご苦勞のおかげで現在があると言っても過言ではないと思っています。

私自身町連発足から全ての事業にかかわってきました。これからも過去にこだわりながら町内会活動にかかわっていきたいと思っています。



清田団地北町町内会

会長 鈴木 亨

世帯数:208戸(平成22年1月現在)

設立年月日:昭和58年4月

設立時世帯数:161戸

歴代会長: 富井 敏夫
熊谷 寿久
佐藤 秀士
春木 政明
小鷹 菊枝
松村 明



笑顔でコミュニケーション

清田団地北町町内会は昭和58年4月、161戸の世帯数で発足し、町内会名称の由来は旧清田団地町内会の発展的解消を受け、旧「北2区」を独立組織をとすることになりましたが、独自性ととも地域町内との連携を重視する意味で「清田団地北町町内会」の名称に致しました。

当町内会は、「安全・安心して暮らせる街づくり」を基本として、会員相互が日常的に笑顔でコミュニケーションの出来る町内会をつくるために取り組んでおります。

活動の一つとして、高齢者・身体障害者等の支援が必要な人を助ける社会をつくるため、町内会に「福祉推進委員会」を平成16年4月に設立しました。福祉厚生部と一体となり高齢者の方々のために「茶話会」「敬老会」など積極的に取り組んでおります。

また、新たな活動としては平成16年から町内会独自で行なう「夏まつり」を開催し、そのほか「日帰り旅行」など各部で行事を計画し実施しております。

北町町内会ではこの2・3年の間に子どもたちが増えてきました。子どもたちのために新しい行事としてクリスマス会を行なっております。

今後の目標としては少子高齢化に向かっているため、福祉推進の拡充を図って行くことと、「夏まつり」「子どもクリスマス会」を継続して行っていくこと、また皆様一人ひとりの力添えをお願いし「楽しく明るい町内会」を作ることをめざして取り組んで行きます。

清田東町町内会

会長 白井 敏勝

世帯数:330戸(平成22年1月現在)

設立年月日:昭和58年4月

設立時世帯数:307戸

歴代会長:川崎 末吉
中内 春松



創立20周年に寄せて

清田中央地区町内会連合会が創立20周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。早いもので連合会町内会が設立して二十年の月日が過ぎました。

私達町内会は昭和58年4月に307戸の世帯数で設立しました。歴代会長は川崎末吉氏・中内春松氏で、中内氏は平成11年に病気により他界されました。町内会の名前の由来は清田団地町内会が発展的に解散・分町することになり、旧東1区と2区を合併しその所在が清田東にあることから「清田東町町内会」としました。

町内会の活動に協力的な会員が多数おり、順調な運営が行われています。平成14年には清田東町町内会自主防災を設立し、年に1度防災活動を行なっております。

また、恒例化した盆踊り・排雪作業はもとより、パークゴルフやジンギスカンパーティなど、継続的な町内会活動を行ない、会員の親睦と融和をすすめております。

清田高台町内会

会長 杉田 伸正

世帯数:313戸(平成22年1月現在)

設立年月日:昭和58年4月

設立時世帯数:267戸

歴代会長:稲川 剛史
咲間 光雄
加賀谷 正光

4大事業:観桜会(5月)
夏祭り(8月)
敬老会(9月)
排雪(2月)



きれいで住みよい街づくり

加賀谷会長になってから確立された町内会の5大事業のうち、グランドゴルフが子供会とのイベントと重なり中止をすることになりましたが、観桜会・夏祭りには100人を超す方々の参加により盛況に行なわれています。

また平成4年6月に高台高寿会老人クラブが発足し、月2回の会食会など様々なイベントを行い、特に高齢者の交通事故防止並びに自己管理等に力を入れ健康に気配りをしております。

公園の管理は老人クラブとこども会がそれぞれ1つずつ受け持ち、5月から11月まで7ヶ月間行ない、きれいな街づくりに努め、安心・安全で住みよい街をつくるようみんなで努力しております。

高台便りは467号発行、高寿会便りは222号発行しております。昨年7月から始まったゴミ分別について16か所に町内会の有志の寄贈により、カラス除けのプラスチック枠等を取り付け、街の美化をはかっています。

高台は名の通り山坂で降雪に悩んでおりますが、協力し合って雪を友達扱いにして、越冬して排雪の日を待っております。

町連20周年おめでとうございます。

清田団地元町町内会 沿革と活動について

会長 柏崎 武敏

世帯数：662戸(平成22年1月現在)

設立年月日：昭和58年4月

設立時世帯数：233戸

歴代会長：北澤 治

細海 誠男

溝口 國高

山田 幸四郎

当町内会は、昭和58年4月旧清田団地町内会から分町して清田団地元町町内会を設立し、以来27年経過しました。区域は7条1・2丁目、8条1丁目と9条1丁目にわたる広い地域です。

設立当初の世帯数は233戸でしたが、次々に宅地造成で拡大し現在は661戸に増加しました。

清武館は昭和49年に地域の人々の奉仕でスポーツハウスとして建てられました。平成6年に当時の会長溝口國高さんのご尽力により大改修し、元町町内会会館として再生されたのです。

この町内会会館は、町内会事業はもちろん、町内の関連団体である「元町ゆうあいクラブ」「つくしんぼ子ども会」「元町パークゴルフ同好会」「福祉推進委員会」の活動拠点として大いに利用されております。

当町内会は豊かな自然に囲まれ、恵まれた環境のもと、住み良い安全な街づくりを目指し、会員相互の親睦と会員福祉の向上を図る活動を推進してまいりました。

町内会の活動は、年間三大大行事として「盆踊り大会」「敬老祝賀会」「新年交礼会」を主軸に、多彩な行事を会員の皆さんの参画のもと実施しております。

町内会として絶対必要な役割は、防災対策、除排雪、ごみステーションの三大大行事です。これに対し、地域住民には相応の負担義務があります。元町町内会の加入率は98%です。

隣近所の付き合いは老後における宝物です。また、貴重な財産でもあります。

清田西町町内会

会長 金田 光司

世帯数：347戸(平成22年1月現在)

設立年月日：昭和53年7月

設立時世帯数：247戸

歴代会長：梅田 博征

大江 俊弼

藤井 三設

佐久間 正一

野口 一治

金子 正一

清田中央地区町連二十周年によせて

我が町連の20周年誠におめでとうございます。

その間歴代の3役をはじめとする役員の皆様には大変にご苦勞様と敬意と感謝を表します。

当西町町内会も町連結成後には清雲橋が平成2年4月に竣工となり昭和59年開校の緑小学校の学童の通学路が容易となり、また平成8年11月には長年の念願でありました当町内会館の落成をみたのも町連のご協力の賜物と感謝致すところです。

特に平成9年11月の清田区の誕生後の区役所行政と町連との連携は、我々単町には重要な依存度と期待いたし、特に昨年完成した防災マップも清田区全体にも重要な大事業であると自負出来ることと存じます。

今後益々の発展を念じてお祝い申し上げます。

清田メイユール喜寿自治会

会長 大藤 留美子

世帯数:70戸(平成22年1月現在)

設立年月日:平成10年4月

設立時世帯数:48戸

歴代会長:大藤 喜一
大藤 一典



創立20周年に寄せて

当自治会は、清田緑町内会より分離独立し当時は、48戸世帯からの発足でしたが、現在では70世帯の会員で成り立っております。

設立以来「会員の努力による活動の活性化に努める」事を基本方針として、親睦を深めるための夏まつり(焼き肉)を実施し、平成19年に発足した子ども会も会員の増加に伴い、ボーリング大会等の行事で活動の拡大を期待されます。

今後も会員の協力を得て、より一層緑豊かな住み良い環境づくりをしていきたいと思っております。今後とも皆様のご指導・お力添えをよろしくお願いいたします。

しんえい西自治会

会長 坪坂 昇

世帯数:255戸(平成22年1月現在)

設立年月日:平成5年7月

設立時世帯数:112戸

歴代会長:古部 貞春

いっそうの発展に向けて

当清田中央地区町連が、創立20周年を迎え大変喜ばしく存じます。

この歴史の中には、大きな発展と共にご苦労も多かったと存じ、歴代の町連会長様はじめ町連役員の皆様にご敬意を表します。

当しんえい西自治会は他の町内会とは異なり、平成12年4月に当町連に加入させていただき、今年でちょうど10年になります。当自治会は、初めは真栄第4町内員でしたが、児童の通学区の関係もあり「しんえい西自治会」として独立した経緯があります。

当自治会は「安心・安全、明るく潤いのある街づくり」を合言葉に植花、焼肉パーティ、ラジオ体操、七夕まつり等々年間を通して地域貢献、親睦、子供達との触れ合い等を大切に町内会活動を行なっています。特に当自治会の老人クラブ「はるにれ会」は、美化清掃、共同募金、交通安全啓発など数々表彰され、当自治会の模範的存在です。

町連のご指導をいただき「八・三運動」や「防犯パトロールボランティア活動」等も活性化しており、これからいっそう町連と一体となって発展に努めたいと思っております。

ヒルズガーデン清田町内会 創立20周年に寄せて

会長 井土 英幸

世帯数:590戸(平成22年1月現在)

設立年月日:平成20年4月

設立時世帯数:500戸

20周年の節目を迎えるにあたり、中央地区内の各町内会発展の為にご尽力いただきましたことに深く感謝とお礼を申し上げます。

当町内会が南町町内会から分町し新しく誕生して3年目を迎えましたが、分町にあたり町連及び南町町内会の関係各位に大変お世話になりました事に深く感謝申し上げます。

当町内会は世帯主の平均年齢が30歳代と若い人が非常に多い活気に満ちあふれた町内会であり、町内会の設立初年度には、ごみステーションの配置や改修などの「環境整備」に努め、昨年は平成22年12月末に開通予定の清田南通りの開通にあわせ通勤・通学・通園時などの交通安全確保のために信号機や道路標識等の設置を豊平警察署と清田区役所に要請するとともに、自主防災組織を立ち上げ「安全で安心な暮らし」ができるよう体制を整えているところです。また、初めての試みである夏祭りを開催し予想を大きく上回る方々が町内外から参加いただき、相互の親睦をはかるといふ所期の目的は達成出来ました。

今年度から、町内会・子ども会や各種サークル活動の拠点となる町内会館の建設に向けて検討に入っております。

今後も「安心・安全」で「ここに住んでよかった」と思える地域づくりを行なっていきますのでご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

清田中央地区町内会館



清田中央総合会館



清田中央会館



清武館



清田南中央会館



清田緑町内会館



清田南町内会館



清田高台町内会館



清田西町内会館



清田第五町内会館



しんえい西自治会館



清田メイユール喜寿自治会館



ファミリータウン会館